

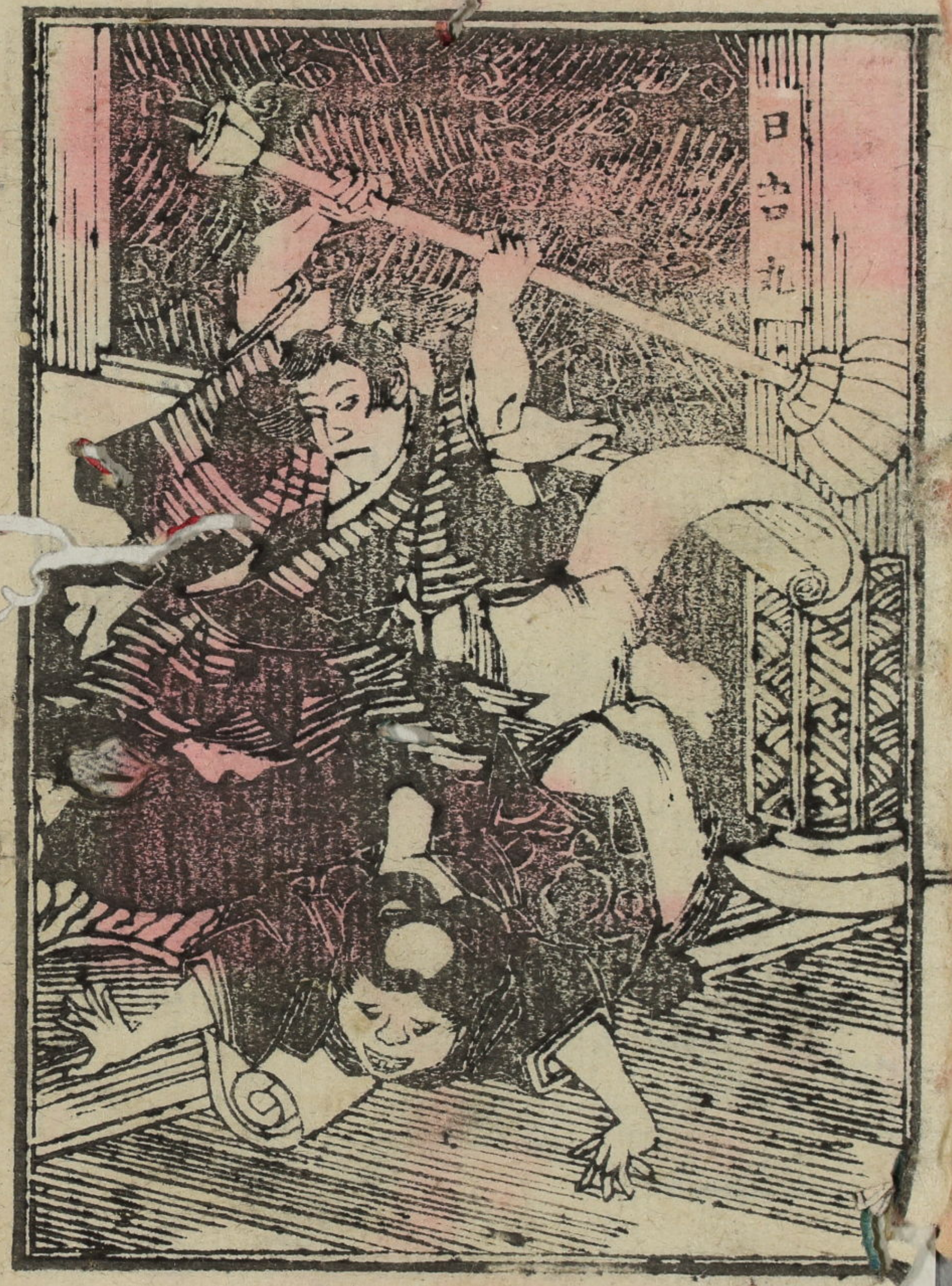
繪本太閤記全

近錦堂版





御届明治十九年十二月廿四日
 編輯兼小傳馬町三丁目
 十六番地
 出版人 長谷川園吉





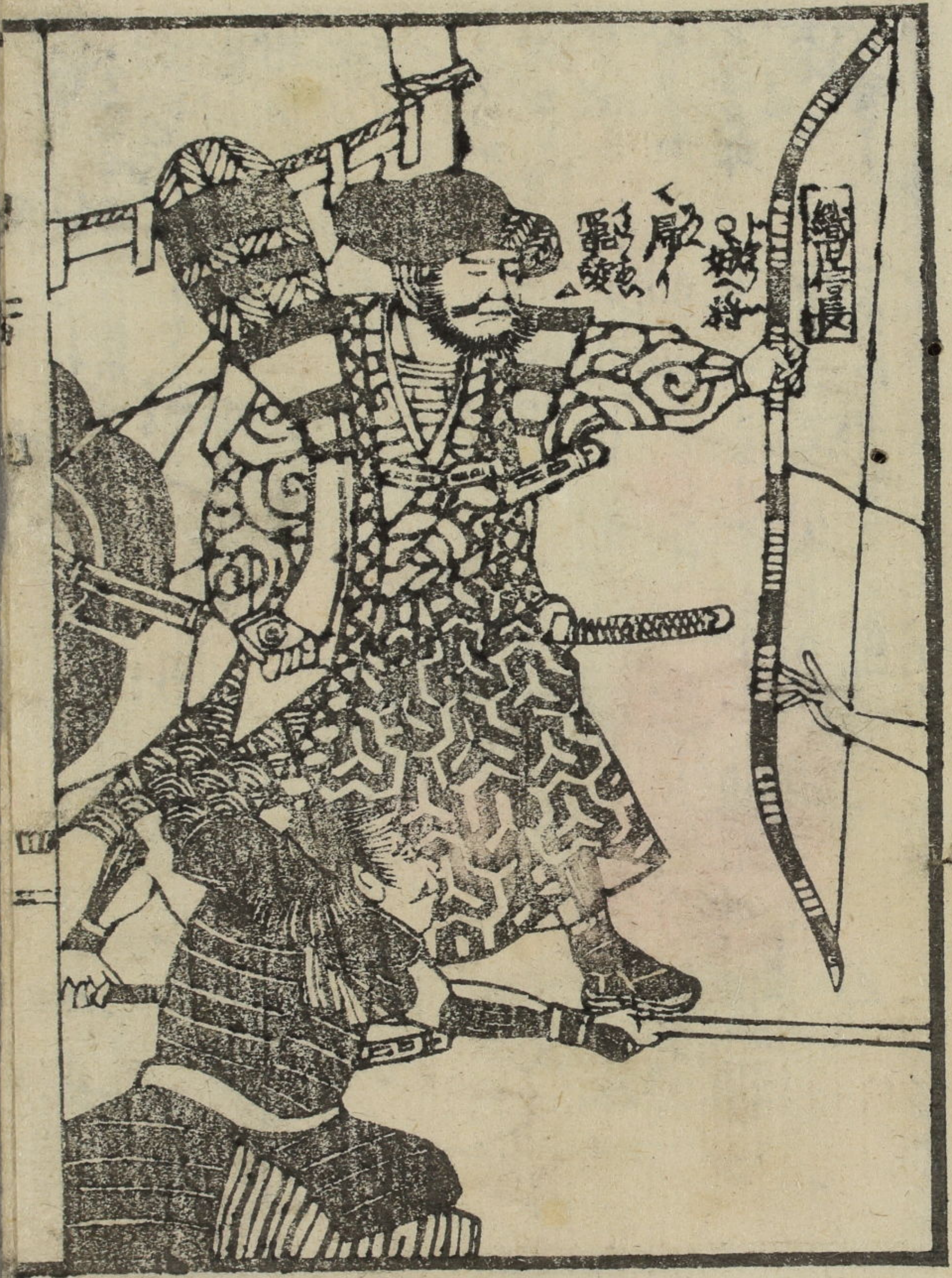
○日向守
三浦高直
人生
細木
陣
出
不
の
上
け
と

日向守

日向守



文治三年の頃
今川義元
康和
吉
日向守
今川勝利



天文廿四年 春二月 長尾景虎 出陣
 越前守 景虎 出陣 越前守 景虎
 命せしむる日とて 命せしむる日とて
 信長 信長
 吉とて 吉とて
 直子頭分 直子頭分
 あり形 あり形



ともあ
 れがゆ
 めとをか
 くとり

出精せいの入る二見
 文のあつてとすはれ工人も
 大不喜び勇まらちかと
 尺一も驚き一ち第三
 日めまうくそのまゝか
 けはのまゝのまゝか
 あらひいやく藤吉と
 おもくからひられ
 けるとも

トウキ



△与(馳)

走(て)

分(え)の

養(ひ)の

其(の)當(り)信(のぶ)長(の)藤(のぶ)吉(きち)巳(の)家(の)来(き)

合(あ)ひ

合(あ)ひ

主(の)水(すい)方(か)の

居(い)る

藤(のぶ)吉(きち)を

打(うち)

長(のぶ)短(た)の鑓(やり)試(し)合(あ)ひ

主(の)水(すい)

家(の)来(き)の

試(し)合(あ)ひ

鑓(やり)

合(あ)ひ

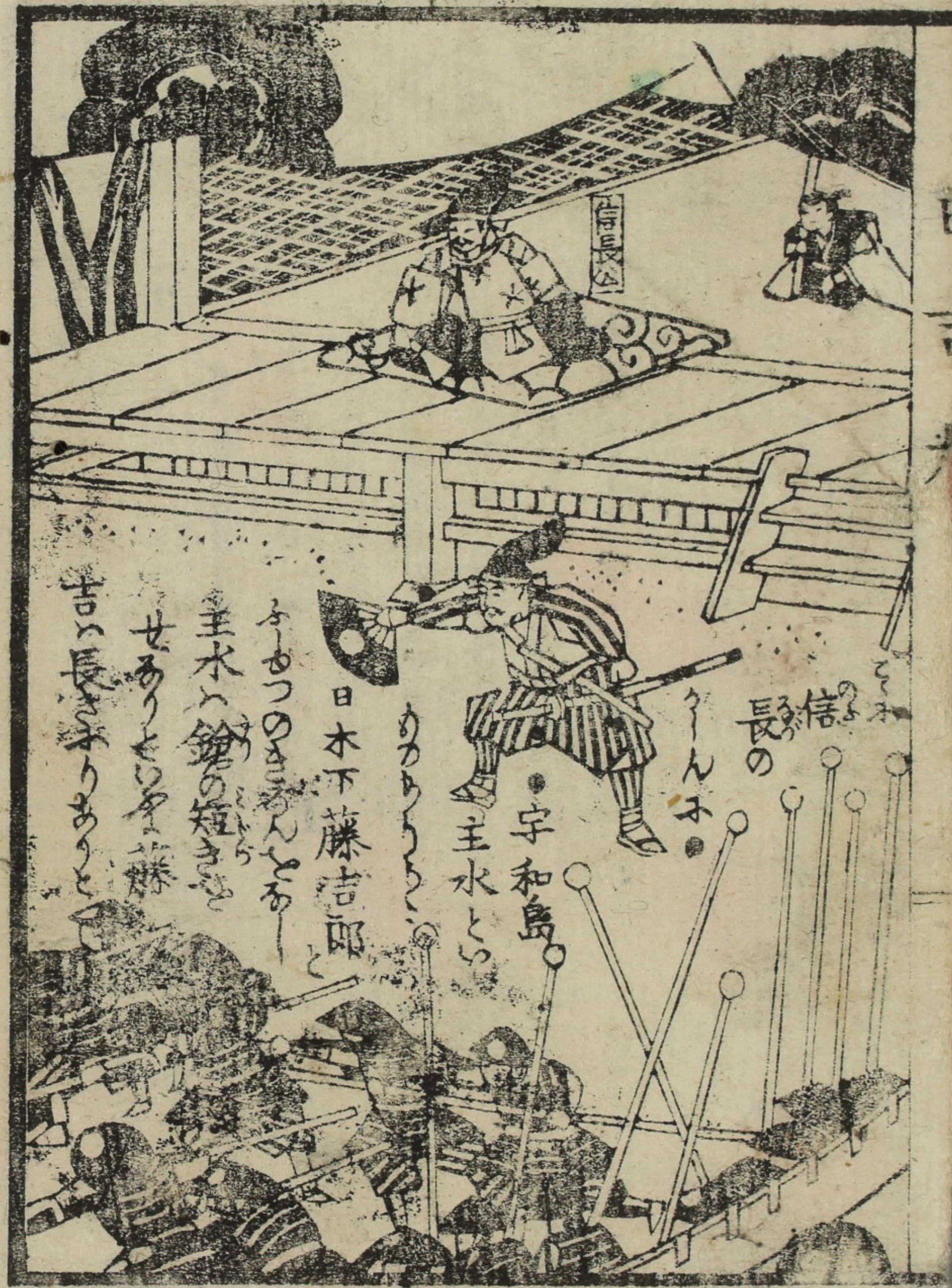
試(し)合(あ)ひ

鑓(やり)

合(あ)ひ

試(し)合(あ)ひ

大(おほ)



信(のぶ)長(のぶ)

の

宇(う)和(わ)島(じま)

主(の)水(すい)

日(ひ)下(した)藤(のぶ)吉(きち)郎(ら)

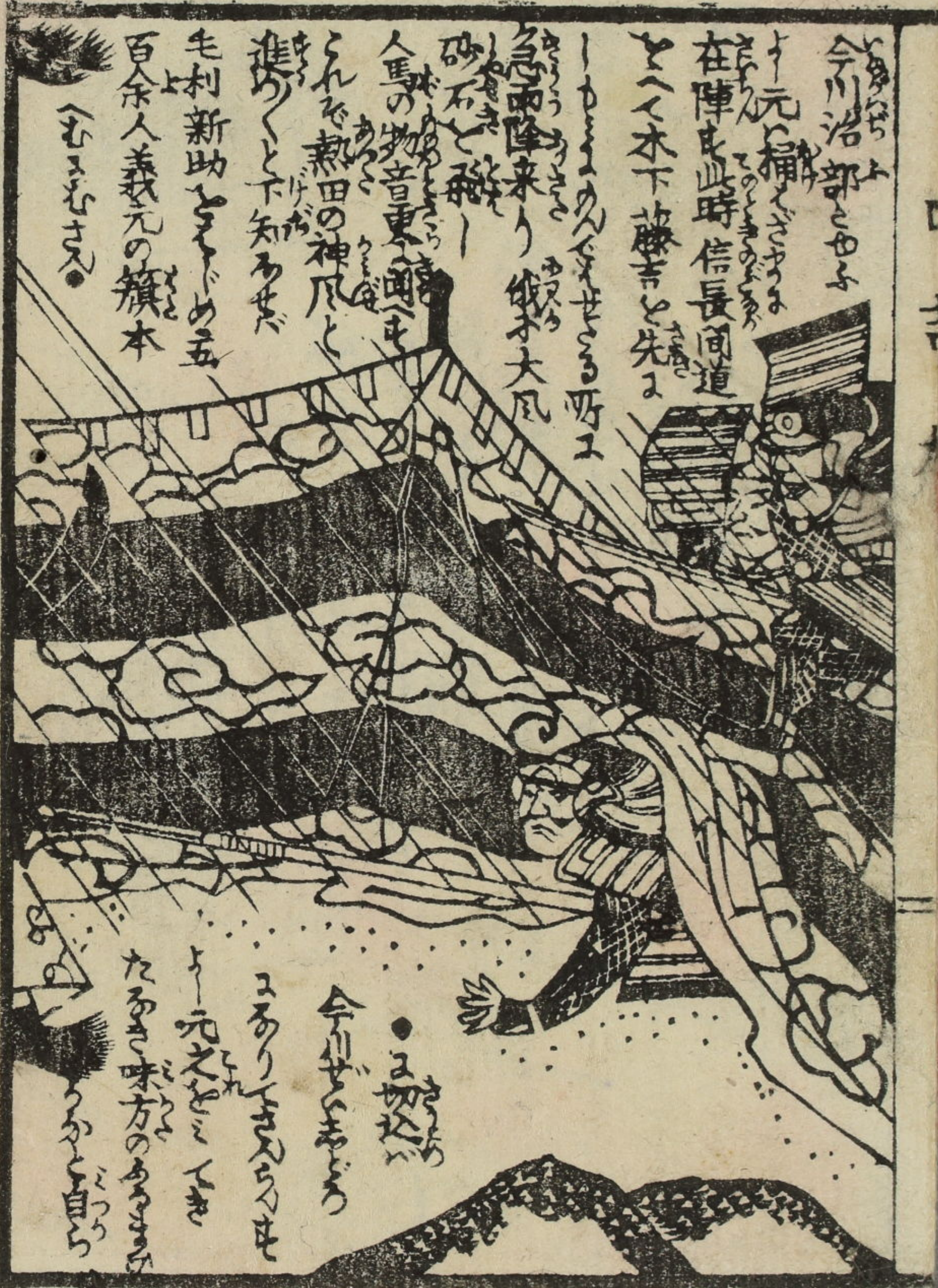
主(の)水(すい)

鑓(やり)の

短(た)

長(のぶ)短(た)の

鑓(やり)試(し)合(あ)ひ

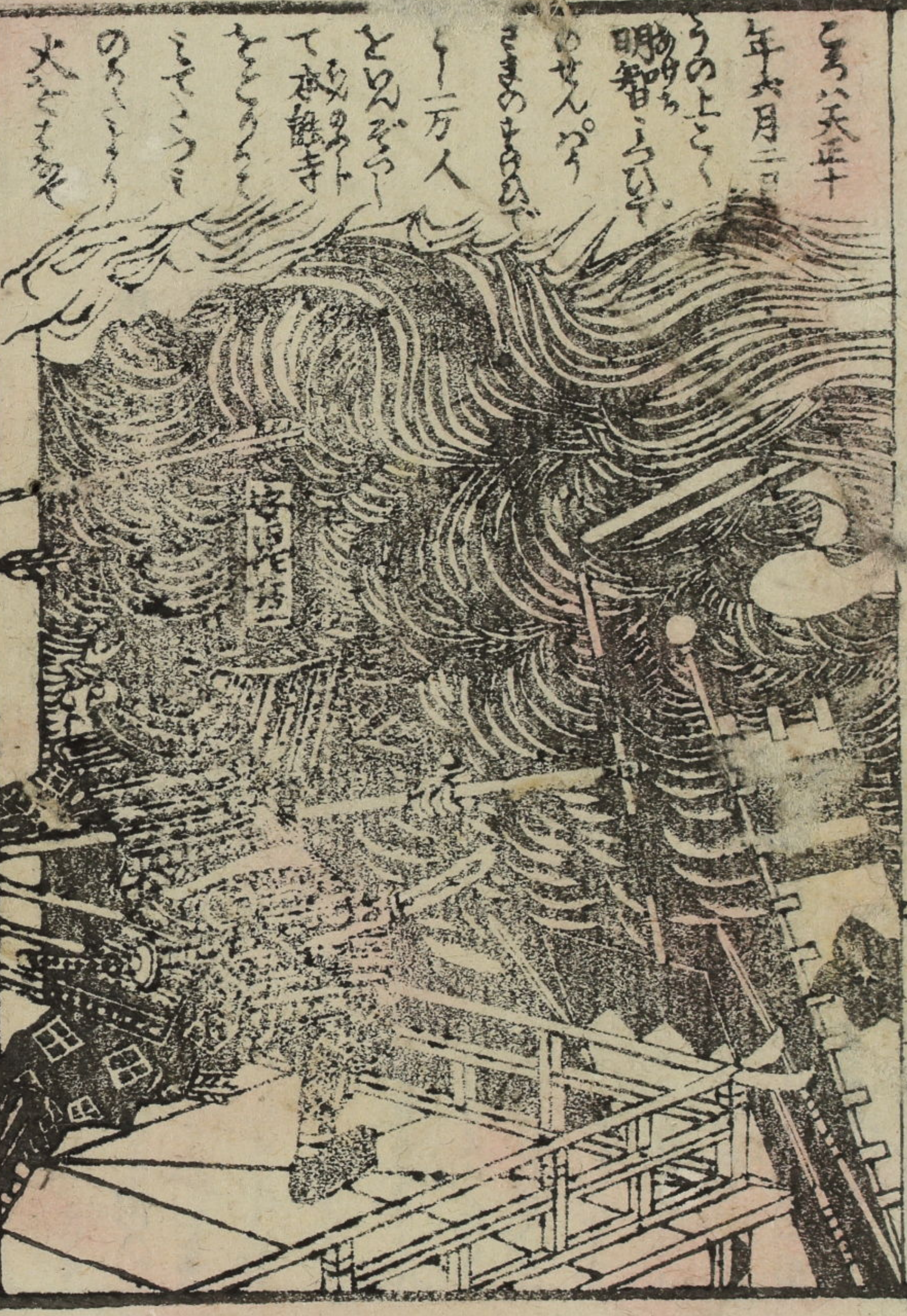


今川治部と申す
 元利 桶屋の者
 在陣也 此時 信長 間道
 とへく 木下 藤吉 と 先よ
 一かゝる 雨の せせり 所工
 急雨 降来り 俄に 大風
 砂石と 飛り
 人馬の 物音 更に 喧し
 らんを 熱田の 神凡と
 進みく と 下知 あり
 毛利 新助 と 申す 五
 百余人 義元 の 旗本
 へ 志す せん

今川 義元
 元利 桶屋の者
 在陣也 此時 信長 間道
 とへく 木下 藤吉 と 先よ
 一かゝる 雨の せせり 所工
 急雨 降来り 俄に 大風
 砂石と 飛り
 人馬の 物音 更に 喧し
 らんを 熱田の 神凡と
 進みく と 下知 あり
 毛利 新助 と 申す 五
 百余人 義元 の 旗本
 へ 志す せん



今川 義元
 元利 桶屋の者
 在陣也 此時 信長 間道
 とへく 木下 藤吉 と 先よ
 一かゝる 雨の せせり 所工
 急雨 降来り 俄に 大風
 砂石と 飛り
 人馬の 物音 更に 喧し
 らんを 熱田の 神凡と
 進みく と 下知 あり
 毛利 新助 と 申す 五
 百余人 義元 の 旗本
 へ 志す せん



乙未年六月二十日
 うの上とく
 明智のうひや
 のせん。う
 ままのまのひで
 一万人
 とりぞや
 て本無寺
 をころす
 こころう
 のうら
 火とて多



へ本無寺
 せつろく
 しはら
 起れり
 とく上
 とるま
 立と明
 智へえ
 のか
 信長公
 むのせ
 むりせ
 明
 智の
 信長

信長

武者 出多羅目吐し
小治 繪算法記

常世糸のトハシ
善惡教訓繪解

新撰手品の種本
滑稽ひざりげ

小學指教圖
新刻明細東京圖

東京地名地口圖本
一代記切附本品々

御届明治十九年一月 日

△ 東京小傳馬町三丁十六番地
近江屋長谷川園吉

